©海事プレス社2026　禁無断転載

Daily Cargo

4月は12%増、海外T/S率36%

■日本発米国向け、データマイン調査

米国のデカルト・データマインが21日に発表した、4月の日本発米国向けのコンテナ輸送量（荷受け地ベース、実入りのみ、速報値）は、前年同月比11.7%増の6万1949TEUとなった。前月比では13.1%増となった。海外トランシップ経由は10.7%増の2万2317TEUとなり、海外トランシップ比率は36.0%だった。前年同月から0.4ポイント下落したが、前月からは2.1ポイント上昇した。1～4月累計の日本発米国向けのコンテナ輸送量は前年同期比0.7%減の20万9720TEUとなった。海外トランシップ比率は35.0%だった。

日本発米国向けの直航分・海外トランシップ分の内訳と、直航分の日本港別の実績（母船積み地ベース）、韓国経由トランシップの日本港別の実績（荷受け地ベース）は表のとおり。4月は韓国トランシップが増加する一方で、中国や台湾、シンガポールトランシップが減少した。今後の見通しについては、オーシャン・アライアンスによる米国東岸航路の動向が注目されている。データマインは、日本寄港が仮に休止となれば、「6月以降は韓国などでのトランシップが増える気配」としている。

アジア域内からの集貨貨物を含む、日本発母船積みベースの4月のコンテナ輸送量は、12.6%増の3万9863TEUとなった。港別にみると、1位の東京港が7.2%増の1万4769TEU、2位の名古屋港が20.2%増の1万2052TEU、3位の神戸港が7.8%の8316TEU、4位の横浜港が11.8%増の3230TEU、5位の大阪港が58.1%増の430TEU、6位の清水港が31.0%増の376TEUとなり、主要6港はいずれも増加した。アジア域内からの貨物は176TEU（前年同月は60TEU）だった。

韓国トランシップは博多港が60.4%増、大阪港が約2倍と伸びた一方、東京港は21.4%減となった。博多港の釜山トランシップは主にタイヤなどのゴム製品が増加した。一方で東京港では、前年同月に自動車関連貨物が釜山トランシップで多く輸送されていたが、今年は減少している。

4月の日本荷受け地ベースの品目別の米国向けコンテナ輸送量は、1位の機械類が16.3%増の1万4421TEU、2位の車両類（自動車含む）が20.3%増の1万3141TEU、3位のゴム類が6.8%増の7476TEUとなった。一方、母船直航積みベースでみると、機械類が前年比で10.6%増、車両類（自動車を含む）が25.4%増、タイヤなどゴム製品が0.9%減となった。機械類は荷受け地ベースの増加率の方が5.7ポイント高く、車両類は母船直航ベースの増加率の方が5.1ポイント高くなっている。データマインは、「機械類に比べ車両類は、荷受け地ベースの増加分が比較的、直航母船に多く積載されている」と分析している。

2026年4月の日本発米国向け東航コンテナ荷動き

（単位：TEU、%）

	4月	前年同月比	前月比	シェア	1～4月	前年同期比	シェア
日本発直航分	39,632	12.2	9.4	64.0	136,253	▲5.0	65.0
＜韓国TS分＞	14,794	29.6	13.6	23.9	49,136	22.9	23.4
＜中国TS分＞	4,077	▲14.9	27.6	6.6	13,779	10.1	6.6
＜台湾TS分＞	2,289	▲7.3	49.5	3.7	6,807	▲22.4	3.2
＜シンガポールTS分＞	397	▲31.1	51.0	0.6	1,352	▲68.8	0.6
＜その他TS分＞	760	▲16.9	38.7	1.2	2,393	4.1	1.1
海外トランシップ合計	22,317	10.7	20.2	36.0	73,467	8.2	35.0
日本荷受け貨物合計	61,949	11.7	13.1	100.0	209,720	▲0.7	100.0

※荷受け地ベース・実入り貨物のみ、FROB（米国経由第三国向け）貨物は含まない、速報値
※TS＝トランシップ
（出所＝デカルト・データマイン）

2026年4月の日本発米国向け母船直航分の日本港別実績

（単位：TEU、%）

順位	日本母船積港	4月	前年同月比	前月比	シェア	1～4月	前年同期比	シェア
1	東　京	14,769	7.2	11.4	37.0	51,472	▲8.5	37.4
2	名古屋	12,052	20.2	8.6	30.2	40,549	▲5.6	29.5
3	神　戸	8,316	7.8	13.7	20.9	27,351	▲10.6	19.9
4	横　浜	3,230	11.8	▲6.2	8.1	12,312	18.9	9.0
5	大　阪	430	58.1	▲11.7	1.1	2,591	138.8	1.9
6	清　水	376	31.0	20.9	0.9	1,167	▲1.3	0.8
6港合計		39,173	12.0	9.1	98.3	135,442	▲4.9	98.5
その他港湾		690	62.0	14.4	1.7	2,053	25.5	1.5
日本発母船直航分合計		39,863	12.6	9.2	100.0	137,495	▲4.5	100.0

※母船積み地ベース・実入り貨物のみ、FROB（米国経由第三国向け）貨物は含まない、速報値
（出所＝デカルト・データマイン）

2026年4月の日本発米国向け韓国経由トランシップ分の日本港別実績

（単位：TEU、%）

順位	荷受け港	4月	前年同月比	前月比	シェア	1～4月	前年同期比	シェア
1	博　多	2,598	60.4	13.7	17.6	8,238	68.1	16.8
2	神　戸	2,174	6.9	6.1	14.7	7,464	9.5	15.2
3	名古屋	2,065	28.9	4.8	14.0	7,008	15.8	14.3
4	大　阪	1,648	103.7	3.5	11.1	6,022	124.0	12.3
5	東　京	1,154	▲21.4	15.5	7.8	3,920	▲27.0	8.0
6	横　浜	1,114	▲0.8	24.1	7.5	3,667	▲8.2	7.5
その他港湾合計		4,041	46.6	25.1	27.3	12,817	26.3	26.1
日本発韓国TS分		14,794	29.6	13.6	100.0	49,136	22.9	100.0

※荷受け地ベース・実入り貨物のみ、FROB（米国経由第三国向け）貨物は含まない、速報値
（出所＝デカルト・データマイン）